



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2020-2021年度 第2週報 No. 2112 2020年(令和2年)7月10日 第2112回 例会記録 7月17日発行

本日〈7月17日〉のプログラム

- ◆ 齊 唱 「それこそロータリー」
- ◆ 献 立 洋食弁当
- ◆ 卓 話 新年度挨拶
出席、職分・会選、会報、親睦、雑誌、会増



写真提供 小池 将夫

司 会 友添 辰哉 副幹事

点 鐘 山本 芳弘 会長

齊 唱 「我等の生業」

四つのテスト 月山 勇 職業奉仕副委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介 手塚 重仁 様(神奈川RC 会長)
井上 光昭 様(神奈川RC 幹事)

特別行事

◆神奈川RC表敬訪問



神奈川RC 会長 手塚重仁様、幹事 井上光昭様

2020-2021年度 RI 会長 マーク・ダニエル・マローニ



ロータリーは機会の扉を開く

第2590地区 ガバナー 吉田 隆男

| | | | |
|--------|--------|---------|-------|
| 会 長 | 山本 芳弘 | 会 計 | 白井 康夫 |
| 会長エレクト | 小山市 康 | 副 会 計 | 渡邊 淳 |
| 副 会 長 | 赤堀 和人 | S A A | 佐藤 勝彦 |
| 副 会 長 | 植田 清司 | 副 S A A | 古澤 一憲 |
| 幹 事 | 田口 健太郎 | 副 S A A | 月山 勇 |
| 副 幹 事 | 友添 辰哉 | クラブ会報 | 池田 広樹 |

例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
 TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和51年5月29日

幹事報告

田口健太郎 幹事

- ・本日、例会終了後に7月度定例理事会を開催します。
場所 5F ジュビリーⅢ
- ・次週例会の出欠確認を回覧致しますのでご記入をお願い致します。なお、7月31日の夜間例会の開催につきましては、本日の理事会にて決定致します。

誕生日祝

岡部雄一郎 会員（7月10日）



結婚記念日祝

佐藤 勝彦 会員（7月11日）



神奈川RC 井上光昭様 神奈川ロータリークラブ幹事の井上光昭です。お見知りおきの程、よろしくお願ひ致します。

岡部雄一郎君 誕生日、お祝ひをありがとうございます。今年一年も健康第一で過ごします。

佐藤勝彦君 結婚祝ひ、ありがとうございます。ベ이스ターズ、今のところ良いペースです。

富居利貞君 山本丸の船出を祝う。

山本芳弘君 神奈川ロータリークラブ 手塚会長、井上幹事、ようこそいらっしゃいました。一年間よろしくお願ひ致します。

山本 登君 あの東京から来ています。

月山 勇君 神奈川RC 手塚会長、井上幹事、今年度よろしくお願ひ致します。

山田正憲君 手塚会長、ようこそいらっしゃいました。

天野公史君 手塚会長、井上幹事、本年度よろしくお願ひ致します。

白鳥厚夫君 神奈川RC 手塚会長、井上幹事、ようこそいらっしゃいました。どうぞごゆるりと。

田口健太郎君 手塚会長、井上幹事、ようこそお越し頂きました。今後ともよろしくお願ひ致します。

茂木知子さん ~気合いだ~年度はじめの4つのテスト、月山会員にお願ひ致しました。月山会員、ありがとうございます。前任の岡部会員に4つのテストの唱和の注意を伺ったところ、1にも2にも気合いだそうです。気合いだ、気合いだ！

加野亮一君 世の中色々大変です。

角野弘幸君 先週はお休みして申し訳ありません。今年度もよろしくお願ひ致します。

北村大輔君 手塚会長、井上幹事、ようこそ。

| | | |
|----------|-----|----------|
| 7月10日 | 16件 | 43,000円 |
| 本年度累計 | | 121,000円 |
| 年度目標進捗状況 | | +24% |

新年度挨拶

◆職業奉仕委員会 委員長 茂木 知子



出席報告

横溝 亘 出席委員長

| | | | |
|-------|--------|----------|--------|
| 会員総数 | 52名 | (34+20)名 | |
| 出席会員数 | 39名 | (26+13)名 | |
| 出席率 | 86.67% | | |
| ゲスト | 2名 | ビジター | 0名 |
| 前回補正後 | 80.39% | 前々回補正後 | 91.84% |

スマイルボックス

古澤 一憲 副SAA

神奈川RC 手塚重仁様 表敬訪問に参りました。よろしくお願ひ申し上げます。

コロナの関係のため、不確定要素があり、会長、幹事もご苦労が多いことと思います。吉田ガバナーの年度であり、委員会活動も充実させたいと努力する所存であります。

メンバーは、月山副委員長、青柳会員、西山会員、朝日会員です。

1. 第一例会の「4つのテスト」

前年度、岡部委員長から「4つのテスト」の唱和の注意点を聞きしたところ、1にも2にも気合だそうです。しかし、年度初めの例会に欠席して、月山委員長に代理をお願い致しました。月山副委員長は快く引き受けて下さいましたが、ご自分が副委員長であることをお忘れでした。委員長をはじめ、気合が足りない可能性があります。

今年度はコロナに対する注意が必要なため、依然のように体調不良、体調不良の人が身近にいる時は、気合だけで例会に出席していいのかと迷う次第です。

2. 優良職場訪問

実施可能かどうか。コロナの感染状況いかにでは、実施が不可能な場合も考えられます。

訪問する職場も室内でなく、戸外でどうか。戸外であれば、天候に左右されます。おそらく、ほとんどの職場が外部の人間の立ち入りを制限しているのでは、ないでしょうか。移動手段も、従来のような貸し切りバスでの移動ではなく、公共交通機関、自家用車の利用も考えております。

私的な意見としては、貸し切りバスが一番安全ではないかと思われま。会員の皆様からの情報提供をお願いします。

3. 11月にクラブフォーラムを開催予定

会員の皆様の出席と活発な意見をお願いします。

◆社会奉仕委員会 委員長 馬場 佳子



本年度、社会奉仕委員長を仰せつかりました馬場と申します。副委員長は石川会員、委員は鴻会員、角田会員、金森会員です。1年間、よろしくお願い致します。

社会奉仕委員会といえば、区民まつりですが、本年度は残念ながら早々に中止が決定致しました。また、友添さんが委員長の際に申請して頂いた地区の補助金事業である岸根公園の花植

えも、継続予定とはいえ、新型コロナの状況によっては、前年度に引き続き「委託」という形となる可能性が高く、かつ、大変有意義な懇親の場は、現状では中止の予定です。そこで、まずは会員の皆さまの健康などに十分留意した上で、本年度山本会長のテーマ「いまできることから」に沿い、当クラブとして何ができるか検討し、実行していきたいと思ひます。

目標としましては、このような時期だからこそ、真に地域から求められていることに焦点をあてることです。例えば、新型コロナウイルス感染防止や、災害対応や防災の観点などに寄与する活動などで、たとえ活動自体が「小さなこと」でも、「やってよかった」と言えるよう、今だからできること、今だから求められることを考えていきたいと思ひます。

会員の皆さまからのご意見も是非、頂きたいと存じますので、ご指導、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

◆国際奉仕委員会 委員長 矢野 修二



今年度は、吉田ガバナーを当クラブから出し、大変な年度なのですが、新型コロナウイルス感染症COVID-19の影響で、国際委員会として思うように動けないかもしれません。世界情勢と我が国の情勢を見ながら、行動していきたいと思ひます。

皆様もお体に気を付けてお過ごし下さい。健康あつてのロータリー活動です。

◆青少年奉仕委員会 委員長 森永 健

R Iテーマ『ロータリーは機会の扉を開く』、また山本会長が示されました「いまできることから」に則り、会員皆様のサポートを受けながら、青少年奉仕委員会の活動を推進して参ります。

皆様もご存じの通り、青少年奉仕委員会の使命は、ローターアクト、インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）、ロータリー青少年交換などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することです。

しかしながらコロナ禍に見舞われている本年度は、青少年交換学生の受け入れは予定もないところに、神奈川県民まつり、並びに神奈川県役所と協賛した「B-Sky FES」が既に中止が決定され、学生への支援事業への取り組みが従来の姿では実践が不可能となりました。



ボーイスカウト等への支援事業は、当面は寄付をはじめとした支援が継続されていることならざるを得ません。

社会全体が安定を取り戻し、経済活動の他、社会活動が障害無く行える様になりましたら、従来行われてきた事業を中心に活動を開始することになると思われまます。

例年と異なり青少年奉仕活動にも皆様のお知恵、ご協力が従来以上に必要になりますことは明らかであり、例年にも増して更なるご協力をお願い致します。

◆S A A 佐藤 勝彦



今年度S A Aを仰せつかりました佐藤でございます。一年間どうぞ宜しくお願い致します。副S A Aは、経験豊かな月山会員と、昨年親睦委員長を務められ大活躍された古澤会員の、3名態勢で活動して参ります。宜しくお願い致します。

☆例会場の管理

ビジターや会員の方々に心地良い時間を過ごしてもらえる様、円滑な例会運営に努めて参りたいと思っております。また、今年度山本会長のテーマにもあります様「いまできることから」という視点からもコロナ禍に促した例会の在り方という点でも他委員会と協力してフレキシブルに対応していきたいとも考えております。

☆スマイルについて

目標は例年通り一旦230万と設定しております。皆様のご協力を何卒お願い申し上げます。

☆誕生日祝、結婚（入会）記念日祝について

誕生日お祝い→お祝いの意味を込めて日本酒「獺祭」の3本飲み比べセットとさせて頂きました。

結婚（入会）記念祝い→今年度はカタログギフトとさせて頂きます。

☆テーブルミーティング

7月～10月のテーマは「今できることとは何か!？」に決定致しました。

各テーブルのマスター・サブマスターは以下になります。

【第1テーブル】

マスター 金森 欣一 サブマスター 須永 久一

【第2テーブル】

マスター 茂木 知子 サブマスター 横溝 亘

【第3テーブル】

マスター 加野 亮一 サブマスター 我妻 隆邦

◆プログラム委員会 委員長 岡部雄一郎



本年度、吉田ガバナー・山本会長の下、プログラム委員長を仰せつかりました岡部です。副委員長には、矢野会員、委員には石川会員、佐藤会員、加野会員、馬場会員の人脉豊富なメンバーと一年間行って参ります。

吉田ガバナー年度ながら、コロナ禍が終わりの見えない中、例会も再開されました。会員の中には持病をもっている方々も複数おられます。そんな中開催される例会の重みが今までとは違う感じがします。プログラムの果たす役割はかなり大きいと思います。会話の少なくなった例会なり、心に残る例会を一年間、積み重ねて行きたいと思っております。

ロータリーニュース

R I 会長からのメッセージ

2020年7月

今は楽観視するべき時ではないと思われるかもしれませんが、今こそ楽観視するべきなのです。

ロータリー創立のずっと前から、人類は進歩と忍耐という能力を試すような重大な危機に見舞われてきました。ロータリーの時代になり、さらに数多くの悲劇に直面してきました。それを乗り越えて人類は今に至っています。そして、ロータリーは常に世界を癒すために尽力してきました。どの危機も、再生と成長の機会なのです。



新型コロナ危機が始まったばかりの頃、「ロータリーは機会の扉を開く」という会長テーマをサンディエゴで開催された国際協議会で発表しましたが、これは私が長年にわたって信条としてきた言葉です。

ロータリーは入会したクラブがすべてではなく、そのクラブを通じて機会の扉が開かれます。ほかの人たちや自分自身のために機会を生み出すために私たちは活動しています。小さなことでも、大きなことでも、ロータリーの奉仕行為は助けを必要としている人びとのために機会を生み出します。そして、ロータリーはあらゆる人びとのために、より豊かで、より有意義な人生を、世界中の友とともに中核的価値観に基づいて送るための機会の扉を開くのです。

政府や団体はロータリーの活動にとって大きな意味合いを持つ公衆衛生のパートナーシップへの理解を深めています。自粛生活の中で絆を求め、地域社会の助けになりたいと願う人びとは、ロータリーが創立以来掲げてきた理念を信奉するようになってきました。

これは朗報ですが、これまで以上にロータリーが活躍する機会が増えているからといって、成功が約束されているわけではありません。世界は急速に変化しています。それは、今回の危機が始まる前からのことです。お昼の例会からオンラインの会合への移行が始まりつつありました。会合の大半がZoomやSkypeで行われるようになる前から、ソーシャルメディアで友情がつかわれ、旧交が温められ、交流が行われるようになってきました。若い世代には奉仕への強い欲求があります。が、ロータリーのような団体が重要な役割を任せてもらえるのかどうか、違う種類のつながりを築く方がより大きな影響を及ぼせるのではないかと私たちは問われています。今こそ、すべての選択肢を検討して、新しい方法を試し、ロータリーを未来に向けてそなえる時です。

コロナ禍で誰もが変化に適応せざるを得ませんでした。これはよいことです。ロータリーの新しい行動計画では、適応能力を鍛えるように呼びかけています。しかし、適応するだけでは充分ではありません。この新しい時代の問題に対処し、世界が切実に必要としているロータリーになるためには、私たちは変わらなくてはなりません。それも、劇的に。それが、今年度だけでなく、今後のロータリーの課題です。理想を実現するための手立てを求めている若い世代の考えやエネルギー、やる気を心から歓迎し、新しい時代に合わせてロータリーを変えていけるかどうかは私たちにかかっています。これまでの活動をただそのままオンラインに移行するのではなく、デジタル時代に完

全に適応した団体にならなくてはなりません。

世界はこれまで以上にロータリーを必要としています。今後何世代にもわたってロータリーが機会の扉を開いていくようにできるかどうかは私たち次第です。

ホルガー・クナーク

2020-21年度会長

ロータリー初のバーチャル国際大会が 革新とつながりのインスピレーションをもたらす

ロータリー初のバーチャル国際大会には、6万人以上が登録し、1週間にわたるプログラムの視聴者数は175,000人に上りました。新型コロナウイルス流行によってホノルル（米国ハワイ）で開催予定だった国際大会が中止に追い込まれた一方で、大勢の会員が、国際大会の重要な側面である親睦と楽しさをバーチャルで体験しました。

6月20日に開かれた第1回本会議では、1時間15分の間にチャットで19,000件近いコメントが寄せられ、会員が互いに交流を図りました。

マーク・マローニーRI会長は、ホノルル国際大会の中止が苦渋の決断であったことを認めつつ、世界中の会員がつながりを維持し、変わりゆく状況に適応し、危機の中で人びとに支援の手を差し伸べていることにインスピレーションを受けた、と語りました。また、このような異例の状況の中でロータリーが適応し、成長するための異なる方法を模索することを余儀なくされていると述べました。

「今私たちは、クラブでの新しい経験を創り出すことの重要性を実感しています」とマローニー氏。

「（ホノルル大会は）ロータリー史上、最も環境にやさしい国際大会にしたいと考えていました。するとどうでしょう。それが見事に実現したのです。飛行機に乗らず、ホテルにも泊まらず、非常に少ないカーボン・フットプリント（二酸化炭素排出量）で、これまでとはまったく違うロータリー国際大会を、今私たちは開催しています」

ロータリー会員の活動分野として「環境」の重要性が増していることを受け、大会の直後、ロータリーは新たに「環境の保全」を重点分野の一つとすることを発表しました。

マローニー氏はまた、自身が会長に就任した1年前、「行動計画」として知られるロータリー戦略計画の目標の一つである「適応力を高める」をロータリーが強調していたことに触れました。

「私たちは今、必要に迫られてこの計画を実行しています」とマローニー氏。「例会の枠を超えた参加を広げることによるロータリーの成長について、私たち皆の理解が深まりました」

マローニー氏のほかにも数多くの世界的リーダーやパートナー団体の代表者が登場し、新型コロナウイルス流行の中でいかに互いが助け合い、結束しているかを語りました。アントニオ・グテーレス国連事務総長は、動画メッセージの中で、社会を弱体化させている問題への解決策を協力して見出す必要性を訴えました。

「ポリオの根絶や世界の人びとの生活向上、恵まれない人たちの苦しみの緩和、そして、より安全で、健康で、平和な世界

の実現など、ロータリーの取り組みは変化を生み出しています」とグテーレス氏。

パネルとして参加した世界的な保健分野の専門家らは、ロータリーとパートナー団体がポリオ根絶活動で活用しているインフラが、各地での新型コロナウイルス対応にも役立てられていることに言及しました。

ビル&メリнда・ゲイツ財団のグローバル開発部門長、クリストファー・エリアス氏は、研究所の検査機能、サーベイランス（監視）、そして数十万人もの保健従事者など、ポリオ根絶活動が有する重要な資産について述べました。

「ポリオ根絶活動が行われている約50カ国のほぼすべての国で、これらの資産が新型コロナウイルスへの対応に生かされている」とエリアス氏。「世界、特に私たちがポリオの追跡を行ってきた貧しい国々が、今その恩恵を受けています。30年以上にわたって築かれてきたポリオ根絶活動のインフラから、私たちは大きな恩恵を受けているのです」

その他のパネリストには、ヘンリエッタ H. フォア氏（UNICEF 事務局長）、レベッカ・マーティン氏（米国疾病対策センター グローバルヘルスセンター ディレクター）、ブルース・アイルワード氏（世界保健機関 事務局長付シニアアドバイザー）などがいました。エミー賞受賞歴のあるテレビジャーナリスト、アリーシャ・デービス氏が、新型コロナウイルス対応にあたる世界中のロータリー会員の動画コラージュを紹介しました。またデービス氏は、オンライン例会を取り入れている会員へのインタビューも行いました。

ホルガー・クナーク R I 会長エレクト（7月1日に会長に就任）は、先行きが不確かな状況にクラブが引き続き対応し、革新を図る必要性を強調しました。

「（対応と適応は）革新を図り、経験から学ぶための多くの新たな機会をもたらします」とクナーク氏。「この瞬間をとらえ、最大限に生かそうではありませんか。学んだことを礎としてロータリーが成長し、新しい現実を受け入れ、新しい人びとを迎え入れ、ロータリーが輝き、世界にインパクトをもたらし続けるための、新しくより良い方法を見出す機会として」

ロータリーニュース

クラブ会員の広場

令和2年度、神奈川県文化協会主催の“小さな美術展の写真展”が7月6日～10日まで、神奈川県役所ロビーで開催され、当クラブの小池会員、角田会員、小山会員の写真も展示されました。

今回は7月27日から31日までの5日間。“涼”をテーマに写真展が開催される予定です。会員の皆様も是非ご覧下さい。



◆表紙の写真◆

今回の花の写真は極楽の花“蓮、です。埼玉県行田市で、今から50年前に公共工事の際、地中に埋まっていた1400～3000年前の古代蓮の種子が偶然出土。自然発芽として復活。“古代蓮の里”は観光名所となっています。

【写真提供 小池 将夫 会員】

◎7月24日、7月31日 休会

次回〈8月7日〉の予定

新年度挨拶

広報・IT、R情報・研修、R財団、米山、戦略

例会4回

6月度出席報告

名誉会員 出席率算出除外会員

| 会 員 | メイクアップ後 | ホームクラブ | 会 員 | メイクアップ後 | ホームクラブ | 会 員 | メイクアップ後 | ホームクラブ | 会 員 | メイクアップ後 | ホームクラブ | |
|-------|---------|--------|-------|---------|--------|-------|---------|--------|-------|---------|------------|--|
| 青木 保潔 | 25 | 25 | 岡部雄一郎 | 100 | 100 | 角野 弘幸 | 100 | 100 | 山崎 善也 | 75 | 75 | |
| 青柳 紀 | 100 | 100 | 加藤 仁昭 | 225 | 100 | 田口健太郎 | 150 | 100 | 山田 正憲 | 150 | 100 | |
| 赤堀 和人 | 150 | 100 | 金森 欣一 | 125 | 100 | 田中龍太郎 | 175 | 100 | 山本 登 | 100 | 75 | |
| 朝日 達夫 | 0 | 0 | 加野 亮一 | 175 | 100 | 田邊 正彦 | 75 | 75 | 山本 芳弘 | 150 | 100 | |
| 天野 公史 | 100 | 75 | 北村 大輔 | 100 | 100 | 月山 勇 | 100 | 100 | 横溝 亘 | 125 | 100 | |
| 雨宮 和則 | 0 | 0 | 北村 有加 | 25 | 25 | 角田 伯雄 | 50 | 50 | 吉田 隆男 | 250 | 100 | |
| 飯田 泰之 | 125 | 100 | 小池 将夫 | 100 | 100 | 友添 辰哉 | 100 | 100 | 吉橋佐千男 | 0 | 0 | |
| 池田 広樹 | 100 | 100 | 河野 明光 | 100 | 100 | 中野 真理 | 100 | 100 | 我妻 隆邦 | 25 | 25 | |
| 石井亜由美 | 100 | 100 | 小山 市康 | 175 | 100 | 西山 潔 | 100 | 100 | 渡邊 淳 | 100 | 0 | |
| 石川 正三 | 75 | 75 | 佐藤 勝彦 | 100 | 75 | 馬場 佳子 | 125 | 75 | 富居 利貞 | 25 | 25 | |
| 伊東 英紀 | 100 | 100 | 清水 茂夫 | 100 | 100 | 古澤 一憲 | 125 | 100 | | | | |
| 岩澤 利雄 | 100 | 100 | 白井 康夫 | 125 | 100 | 茂木 知子 | 125 | 100 | | | | |
| 植田 清司 | 125 | 100 | 白鳥 厚夫 | 175 | 100 | 森永 健 | 150 | 100 | | | | |
| 鴻 義久 | 50 | 50 | 菅田 哲也 | 0 | 0 | 矢野 修二 | 100 | 100 | | | | |
| 大橋 秀行 | 0 | 0 | 須永 久一 | 75 | 75 | 山木 幹夫 | 100 | 100 | | | | |
| | | | | | | | | | | | 月平均 89.97% | |